

星空のたより

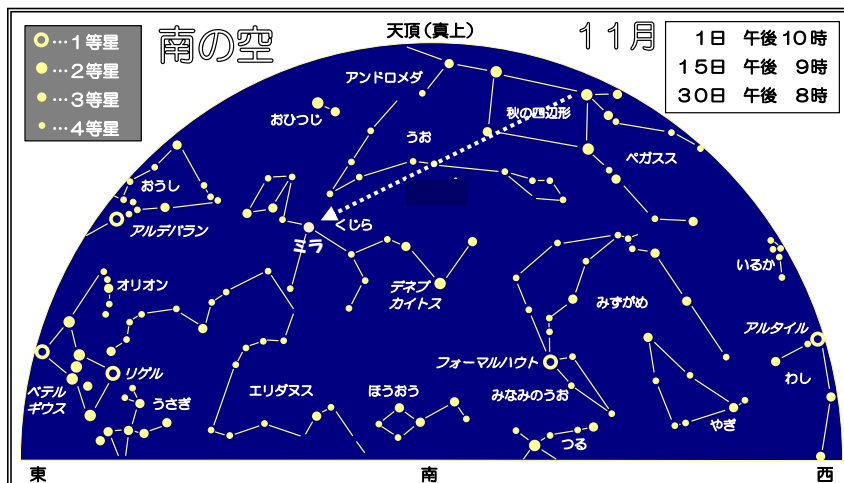
2019年11月号

岐阜市科学館

岐阜市本荘 3456-41

TEL 058-272-1333

しっとりと落ち着いた夜空をながめてみよう



11月になり、ようやく明るく輝いていた惑星の木星や土星は見えなくなり、夏の大きな星も西に大きくかたむきました。そして、東の空からは、冬の星座がでてきました。その間にはさまれた秋の星たち。秋はちょっぴりさびしい星空。明るい星が少ないのです。そんな秋の夜空に「不思議な星」が今見ごろです。しっとりと落ち着いた夜空楽しんでみませんか。



明るさが変わる！？ 変光星のミラ

タイヨウクン

秋の星座のくじら座に不思議な星があるぞ。1回見ただけでは何が不思議なのかかわからないよ。何度も見ていると明るさが変わっていく不思議な星であることがわかるんだ。ミラのように明るさが変わる星を変光星というよ。ミラは変光星の代表的な星の一つだ。星の明るさのものは等級であらわすことができる。数字が小さいほうが明るい星だ。6等級が目で見ることができる限界の明るさだ。このミラという星は、明るい2等級から目では全く見ることができない10等級まで明るさが変わるんだ。だいたい332日周期で変わるぞ。そして今が一番明るい2等級なんだ。今月は2等級の明るさで、12月は3等級そして、1月には、4等級から5等級と暗くなっていくよ。ミラをよくみると赤っぽい色をしているぞ。

昔の人は星の明るさは変わらないと思っていた。だから、明るさが変わるミラという星の存在は不思議だったろうね。昔の人が不思議がっているのがわかるように、ミラはラテン語で「不思議な」という意味なんだ。

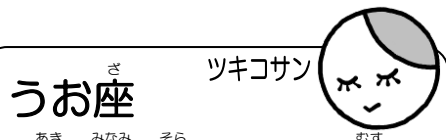
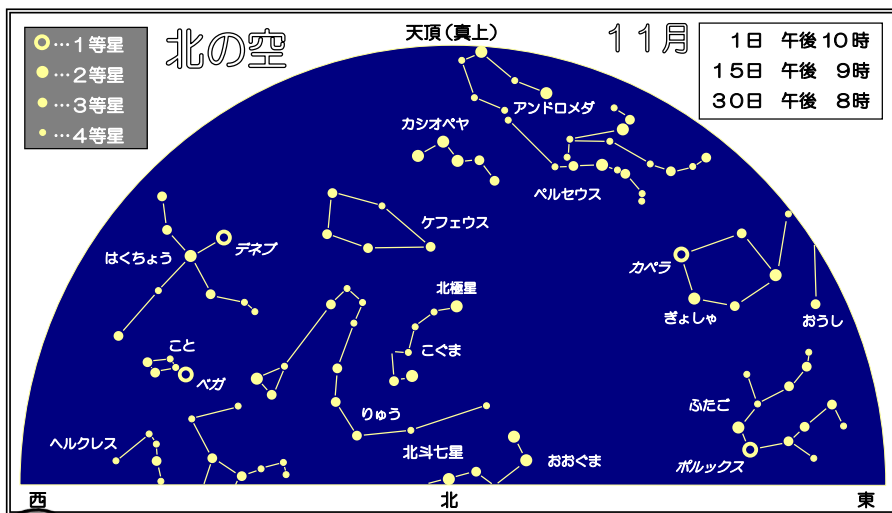
ミラがなぜ明るさが変わるかというと、ミラという星は星としての一生を終えようとしている星で、星自体が大きくなったり小さくなったりを繰り返しているんだ。小さくなるときに明るさが増えていくんだ。

ミラの見つけ方は上の星図のように、秋の四辺形の角を結んで南東のほうへ2倍延ばしたあたりにあるよ。ちょうどみごろのこの時期が明るいのはラッキーだね。みんなも不思議な星ミラを見てみよう！

月の満ち欠け (時間は月が東から出る時刻(「ー」はその日に月の出なし): 観測地・岐阜市)

みかづき 三日月	●	半月 (上弦)	●	満月	●	半月 (下弦)	●	新月	●
10/30	8:11	11/4	12:50	11/12	16:55	11/20	ー	11/27	6:57
11/29	9:03	12/4	12:32	12/12	16:49	12/19	ー	12/26	6:48

※日の入り後、月を見るのに適した期間(11/1~11/16、11/29~12/15)

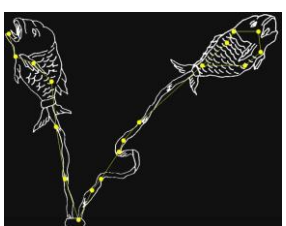


うお座

ツキコサン

秋の南の空にはリボンに結ばれた2匹の魚がいるわ。これは誕生星座でもあるうお座よ。うお座は4等星や5等星といった暗い星なので、街明かりがあまりなく星がよく見えるところでない」と星と星を結ぶことは困難だわ。東側の魚が美の女神ヴィーナスが変身した魚、西へ向いているのがその子どもである愛の使者キューピッドが変身した魚と言われているわ。怪物ティホーンが襲ってきたとき、姿を魚に変えて2匹が離れ離れにならないように互いの身体をリボンでしっかりと結びつけたの。

親子の強い絆を感じた大神セウスがその姿を天にあげて星座にしたの。



「はやぶさ2」いよいよリュウグウを後に！

5年前に小惑星リュウグウを探索するために、打ち上げられた日本の無人探査機「はやぶさ2」が数々のミッションに成功し、いよいよ地球に帰る準備を始めているぞ。ミッションの中には非常に困難で世界初のミッションもたくさんあったんだ。爆薬で銅板を勢いよく放出してリュウグウの地面にぶつけて、地中のサンプルを表面に出したんだ。そして、タッチダウンでそのサンプルを採取したぞ。その採取した大切なサンプルをもって、来年12月に地球に戻ってくる予定だ。みんなも楽しみに待っているよ！

星空クイズ Q:リボンで結ばれた2匹の魚は何座でしょうか？

うお座のあたりには、くじら座、みずがめ座、いるか座、みなみのうお座、そして、下半身が魚のやぎ座。どうですか、水に関係する星座が集まっていますね。星座の起源が多いメソポタミア地方は、雨季と乾季があります。雨季の訪れは、太陽がみずがめ座のあたりにあるときです。なので、水にちなんだうお座もここにできたのかもしれないですね。(答え：うお座)



★★★「はやぶさ2」の天文講演会 11月30日に科学館で開催します！ ★★★

今話題の「はやぶさ2」。その研究にもたずさわっているJAXAの岩田隆浩先生から『「はやぶさ2」で探る小惑星と地球の謎』というテーマでわかりやすくお話をしてもらいます。詳しくはホームページで。

	11時	12時	13時	14時	15時	16時
平日	※放映時間は各回約50～55分 前半に今！夜の星空解説あり。		星空解説& ムーン・ジャーニー 13:00～		星空解説& 火～木曜日 銀河鉄道の夜 金曜日 星空タイム 14:30～	星空解説& ムーン・ジャーニー 16:00～
土曜日 日曜日 祝日	キッズタイム 星空解説& はなっば 10:30～	星を見る会 昼間の	星空解説& ムーン・ジャーニー 13:00～	星を見る会 昼間の	星空解説& クレヨンしんちゃん 14:30～	星空解説& 銀河鉄道の夜 16:00～

- 星空タイムは、毎週金曜日 14:30～のオール生解説のプラネタリウムです。夕暮れから夜明けまでじっくりと星空めぐりをします。
- ☆ 昼間の星を見る会 (11:30～、14:00～、15:30～) 土・日・祝日に屋上天文台にて
- ☆ 11月9日(土) 18:00～は「星を見る会」。当日9:30から参加券配付(定員制) 屋上・天文台で「アルマク(二重星)、フォーマルハウト(1等星)、M31」などの観察をします。
- ☆ 11月23日(土) 18:00～は「ぎふスターウォッチング」。JR岐阜駅前にて(事前申込不要)
- 11月30日(土)は天文講演会のため、14時30分と16時からの放映は休演になります。

☆印は天候により天体観望が中止となることがございます。